

紫明の窓

発行：京都鞍馬口医療センター

編集：広報委員会

2018年11月 第7号



独立行政法人地域医療機能推進機構
京都鞍馬口医療センター

〒603-8151 京都市北区小山下総町27番地
TEL 075(441)6101代表 FAX 075(432)0825
URL <http://kyoto.jcho.go.jp>

健診雑感

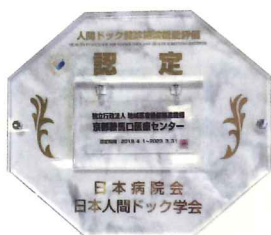
健康管理センター長

田邊進一

膨大な時間を健診結果の点検に投入している健管センター長です。ここ10年以上は毎年25000人ほどの受診者全件の健診結果に目を通して、データの向こうにいる人々をイメージしながら健康や長寿への期待のもと、各人に強いる生活習慣の修正が果たしてその人の幸せや満足につながるのか悩む日々です。

ところで最近東洋経済オンラインの2018年9月14日の権丈善一慶應義塾大学商学部教授「予防医療で医療費を削減できる」は間違いだ。という記事を読んでいるいろいろ考えさせられました。経済誌ですのでその視点は医療者と異なり社会保障制度維持のための増税支持論の匂いがしますが、一、健康寿命が増加してもその後の「不健康な期間」が短縮できるという医学的な根拠はないこと、二、疾病の発症が生活習慣要因の他に遺伝要因、外部環境要因など個人の責任に帰することができない複数の要因が関与していることを捨象した「生活習慣病」という用語の見直しを行うべしとする動き（「生活習慣病」になるのは「個人の責任か？」）の2点には臨床医として肯首します。特定健診・特定保健指導のコスパの悪さなど真摯な関係者にとって刺激的な数字も出ています。以前同誌2007年3月24日不都合な「たばこ」の真実、ガンの嘘、では「喫煙率が減ると医療費が増える」とのJT役員氏の論もみられましたが11年経った今、分子標的薬が生きるチャンスを与える反面、自己破産、健保破産のリスクをもたらす時代になりました。

ついこの間まで公的な社会福祉が圧倒的優位で皆がそこそこ納得していたのですが、昨今その財源の限界が意識されるようになり、医学の進歩や周辺・他業種の参入などで個人の健康観、死生観が変容し多様化してきたと感じます。医療者側の一人として健康寿命の延長がそれでもまだ多くの人をたぶん幸せにするであろうと自分に言い聞かせながら、この窮屈になった生態系の中でどうすれば生活習慣以外の要因を持つ、しかし今の悪い生活習慣に気付いていない受診者を的確効率高く見つけ無駄なく指導していけるのか思案しています。



医師紹介

第七回は、

竹村 佳純先生を紹介します。



私は平成8年に京都府立医大を卒業し、京都府立医大附属病院での研修を終えて以降、呼吸器の道を歩んできました。

大学院時代および留学の際は、肺胞上皮を経由する水やイオンの輸送、急性肺障害に関連する研究をしました。肺は、肺胞上皮を隔てて血管と空気が接する臓器なので、水分をきちんと制御しなければ肺は水浸し（肺水腫）になってしまいます。健康に過ごしていると恩恵がわかりませんが、例えば赤ちゃんが生まれたとき、肺胞から血管側に、羊水を一気に吸収する事で、息ができるようになります。産声の瞬間です。いろんな方法で吸収が促進されるのですが、私はコリン作動薬により賦活化されることを報告しました。

そして臨床では、気管支鏡検査や治療、そして肺がんの薬物療法を専ら専門としてきました。気管支鏡はあまり受けたくない検査と思いますが、最近では沈静をしつ

かり行うので苦痛が少なく、また、診断精度が格段と向上したので、適応も広がり、若手にも興味をもっていただけだと思います。それまでは本当に地味な検査でした。また、20年前、がん治療を志す医師がそれだけいたでしょうか。惨憺たる治療成績に、避ける者も多かったと思います。しかし、いまや薬物療法が発展し、学会でも腫瘍分野は存在感を増し、志す若手が増えました。

最後に、私個人ですが、あまり目立った話題がありません。片山先生はドロローンが趣味と聞いていますが、私の趣味は、たぶん、貧乏性からくるDIY、下手ながらになんでも自分でやってしまう事でしょうか。自作パソコンに、水道の修理、内窓の設置、オイル交換など、今時はネットで調べたら大抵の事ができます。

平成29年4月から前任有本先生の後任として、昨年は廣瀬先生と、今年は片山先生と診療しています。すでに2年弱経過しましたが、最近、ようやく慣れてきました。内視鏡室、地域医療連携室、病棟、秘書さん、クラークさん、いろんな方に

支えられている事に感謝しています。この地域の呼吸器診療のお役に立てればと思います。

呼吸器内科の診療概要

呼吸器疾患は、肺腫瘍、閉塞性肺疾患、呼吸器感染症、間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群など、多彩な疾患を含んでいます。分子標的薬や免疫療法など大きな変化を遂げる肺癌治療に対し京都府立医大と連携し集学的治療への橋渡しを行います。

また、COPDに対する包括的呼吸リハビリテーションや、喘息の吸入療法などを進めていき、呼吸器疾患における地域医療の役割を果たしたいと考えています。



呼吸器内科の
スタッフです。

〽️ 医院紹介 〽️

内科・外科 小林医院

産まれてから66年、この地に産まれ住んで、幼稚園から今日まで、そして平成7年からは社会保険京都病院で外科医として勤務、いつも鞍馬口病院を見ながら生活しています。

平成20年から父親の後を継ぎ、小林医院を開業しました。当院では一般内科とちよつとしたケガなど、地域の皆さんに少しでもお役に立てるような治療を目指して日々診察を行っています。また日曜日の午前中も診察を行っていますので、少しは休日診療所の役目もしているかと思っています。

余談ですが、開業後も毎月1回佐渡島の同級生の病院で土曜日、日曜日外来診療を行っています。佐渡島は日本の島の中で沖繩本島に次ぐ面積を持つ島で、朱鷺の棲む島、能の世阿弥が流された島、金山などでよく知られています。また、毎年9月に全島を舞台にトライアスロン大会が行われています。興味がある方はぜひ佐渡にお越しください。

京都鞍馬口医療センターには、平日休日を問わず専門医療、緊急診療、入院など大変お世話になっています。病院との連携なし



内科・外科 小林医院

ご予約・お問合わせはこちら

☎ 075-585-7102

● 診療時間 休診：月曜日/祝日/第1土曜日・翌日曜日

	月	火	水	木	金	土	日
AM 8:00~12:00 (受付終了時間 11:40)	/	○	○	○	○	○	○
PM 18:00~20:00	/	○	○	○	○	/	/

※日曜日は院長の都合により休診することがあります。

院との連携なしでは医院で診療することはできません。気軽すぎるくらい相談させていただき申し訳ありませんが、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

この冬の感染予防策

今年も冬がすぐそこに迫っています。冬に多い感染症といえはインフルエンザとノロウイルスです。

インフルエンザ対策

- ・可能な方はワクチンを接種する事
- ・手指衛生の徹底
- ・咳エチケット
(他人にうつさない)
等が挙げられます。

ノロウイルス対策

- ・主な感染源である2枚貝を十分に加熱して喫食する事
- ・石鹸と流水による手洗い
(アルコール手指衛生はノロウイルスに効果無い)
等が挙げられます。



備えあれば憂いなしと言いますし、職員の皆様も今一度ご自身の感染予防策を見直して頂ければと思います。

ICT 山崎 正貴

新入職医師紹介

①経歴 ②専門分野 ③趣味

(平成30年10月1日付)

津田 詠子 麻酔科医師

- ①京都府立医科大学卒／京都府立医科大学大学院卒
- ②手術室での手術における全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔／神経ブロック等
- ③野球観戦等



市丸 昌平 整形外科医師

①三重大学卒／京都府立医科大学大学院卒②膝の外科、四肢の骨折、軟骨のバイオロジー③書店の雑誌コーナーで目にするような「趣味」と言えるものはありませんが、BBCの無料ネットラジオで英語（学校で学んだ米語とは少し違います）を嗜みながら、おしゃれな音楽を探し、サッカー批評をし、世界情勢をウォッチする、という時間が多い気がします。

平野 宗治郎 泌尿器科レジデント

- ①浜松医科大学卒



物忘れ外来

担当医／原田政吉Dr. (京都府立医科大学卒)
日本神経学会専門医、指導医

これまで、神経内科は火曜日と木曜日だけの診察でしたが、平成30年9月より『物忘れ外来』として月曜日も診察を開始しました。
お困りの事がございましたらご相談ください。

次回予告

第59回市民公開講座

平成30年12月9日(日)を予定しております。

担当／内科医師、麻酔科医師

鞍馬口カンファレンス

地域医療機関との病診・病病連携により、医療知識・医療技術の向上及び地域の先生方との連携を深めることを目的に、鞍馬口カンファレンスを実施いたしました。

【参加人数 56名(当院23名、当院以外(開業医の先生方等)33名)】

日時／2018年8月23日(木) 19時～20時30分
場所／京都ガーデンパレス

一般演題 19時～19時20分

座長／北村医院院長 北村 浩一先生

「細菌の薬剤耐性(AMR)に対する日本の行動計画 (アクションプラン)及び病院での感染対策について」
京都鞍馬口医療センター 内科部長 山崎 正貴先生

特別講演 19時30分～20時30分

座長／竹上内科クリニック院長 竹上 徹先生

「認知症治療の現状と課題」

京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学
教授 水野 敏樹先生

今回はH31年2月21日を予定